

地域公共交通網形成計画を策定。中学生の通学利用はスクールバスへ。すまいるバス倉坂線と泉水線は、もやいたクシー2路線に転換

私たちのバスをもっと身近に、もっと使いやすく

鞍手町の公共交通の在り方を議論してきた地域公共交通会議で「地域公共交通網形成計画」を策定し、大きく2つの見直し案が決まりました。1つは、中学生の通学手段をスクールバスへ移行すること。もう1つは、中学生の通学に合せていたことで利用しづらく、一般の利用者が減少していた、すまいるバス倉坂線と泉水線を廃止し、もやいたクシーへ転換することです。見直し案は、令和2年4月から実施する予定です。

鞍手中学校開校から4年
公共交通の抜本的見直しへ

町では、平成23年10月から「すまいるバス（コミュニティバス）」と「もやいたクシー（予約型乗合タクシー）」の運行を開始し、これまで数回にわたり、経路や時刻、運賃体系などを見直してきました。

また、平成27年4月からは、鞍手中学校の開校に合わせ、生徒の通学に対応した経路や時刻に変更し、現在に至っています。

しかし、4年が経過し、通学に合わせた運行時刻や便数は、高齢者など一般の利用者には使いづらく、年々、利用者が減少。見直しを望む声が多く寄せられました。また中学生の利用も低迷しているのが現状です。町の公共交通に対する財政負担も増加し続けています。このままでは、公共交通の維持が難しくなってくることから、町では抜本的に見直すため、「鞍手町地域公共交通網形成計画（網計画）」を策定。将来にわたって持続可能な公共交通体系づくりに着手しました。

利用者の声を聞き実態を調査
交通網形成計画を策定

網計画を策定するため、町ではまず、町内各区分長や民生委員・児童委員、鞍手中学校生徒・保護者へのアンケートを実施。また、すまいるバスなどの利用実態調査、運行する交通事業者への聞き取り調査なども行いました。

調査では、バスなど公共交通の必要性を多くの人が感じている反面、利用者の生活スタイルに合わず使いづらいといった意見や、廃止や減便には大きな影響があるといった声がありました。

町では、これらの意見や利用実態のデータを整理・分析。具体的な改善策について、住民代表や学識経験者、交通事業者などで組織する地域公共交通会議（交通会議）で検討を重ねていきました。

その結果を計画案としてまとめ、2月から2度のパブリックコメント（住民意見の募集）を実施。交通会議で最終的な調整、取りまとめを行い、6月に網計画を策定しました。

スクールバスへの移行と
もやいたクシーへの転換

網計画は、期間を6年間とし、基本方針や目標を達成するための13の施策を掲げています。このうち、住民生活に大きな影響が考えられる

①通学需要に応じた公共交通手段の見直し（スクールバス化）
②すまいるバス倉坂線、泉水線のもやいたクシーへの転換

の2項目（下図）は、令和2年4月からの実施に向けて調整を進めていきます。

もやいたクシーへの転換により新たに設置する乗り場やすまいるバスみやわか線の新しい運行経路、時刻は、決定次

第、町の広報やホームページでお知らせします。

また、特にもやいたクシーへの転換により、すまいるバスの路線を廃止する予定の地域では、利用者を対象にした説明会を行うなど、スムーズな移行に努めていきます。

①通学需要に応じた公共交通手段の見直し（スクールバス化）

中学生の通学にスクールバスを導入。すまいるバス（みやわか線）は、一般利用者にとって利便性の高い運行時刻や路線に変更



・すまいるバス
スクールバス機能あり

・すまいるバス
買物や通院に対応



・スクールバス
中学生の通学に対応



②すまいるバス倉坂線、泉水線のもやいたクシーへの転換

すまいるバス2路線（倉坂線、泉水線）を廃止し、もやいたクシー上木月線を含め、再編

